

# 宇宙産業分野における 人的基盤強化に関する取組状況について

平成30年10月  
経済産業省

# 宇宙産業分野における人的基盤強化に関する取組について

- 政府全体の経済政策の柱として「人づくり革命」（リカレント教育等）、「生産性革命」（IT人材等）が重要視されており、人材力の抜本強化は喫緊の課題。
- 宇宙分野においては、宇宙産業全体市場規模の2030年代早期倍増を掲げる中、**将来的な宇宙産業の拡大に必要な人材絶対量の確保や人材流動性の低さ**などの課題が顕在化。
- 今年1月に「宇宙産業分野における人的基盤強化のための検討会」（座長：中須賀東京大学大学院教授）を立ち上げ、宇宙産業の人材の実態を踏まえた具体策について議論、5月に報告書を公表。

## 本検討会においてとりまとめられた具体的な施策の方向性

### 1. 「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」の活用検討等を通じた衛星データ活用スキル習得機会の拡大

- 経済産業大臣の認定を受けた講座のうち、厚生労働省が定める一定の要件を満たし、厚生労働大臣の指定を受けたものについては、「専門実践教育訓練給付」の対象となる。
- 衛星データの利活用拡大のためには、データ処理・解析等の利活用に係る必要なスキルを取得するための環境整備が重要であり、衛星データに係る新規講座の開設の検討に加え、**ビッグデータ解析の認定事業者等を対象とした衛星データ活用スキル習得機会等**を提供することが重要。

#### 「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」

- 社会人向けのIT・データ分野の専門性・実践性の高い教育訓練講座を経済産業大臣が認定する「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」を今年度創設。
  - 2018年1月にAI・データサイエンス分野を含む23講座（16事業者）を初回認定、4月以降開講。2018年7月に同様に21講座（15事業者）を第二回認定、10月以降開講。
- ※ 経済産業大臣が認定した教育訓練講座のうち、厚生労働省が定める一定の要件を満たし、厚生労働大臣の指定を受けたものは、「専門実践教育訓練給付」の対象となる。

#### <認定対象分野>

##### ① IT分野

➔ AI、IoT、クラウド、**データサイエンス**等【将来成長が見込める新技術・システムの習得（デザイン思考、アジャイル開発等の新たな開発手法との組み合わせを含む）】

➔ 高度なセキュリティ等【必須スキルの習得】

##### ② IT利活用分野（今後、拡大の予定）

➔ 自動車分野のモデルベース開発等【（製造業向け等の）ITによる高度化対応】



#### <講座の特徴>

- ✓ 民間事業者による講座、資格とヒモ付かない講座、120時間以下の授業時間の講座も対象
- ✓ 実習、実技、演習又は発表などが含まれる実践的な講座がカリキュラムの半分以上
- ✓ 審査、試験等により訓練の成果を評価
- ✓ 社会人が受けやすい工夫（eラーニング等）

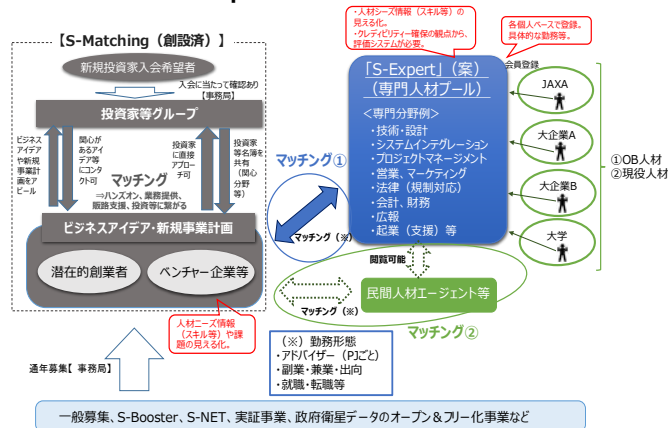


初回認定講座事業者と世耕大臣との意見交換

### 2. 宇宙ビジネス専門人材プラットフォーム「S-Expert」（仮称）の創設を通じた、宇宙産業内の人材流動性の向上及び他産業からの宇宙産業への人材流入の促進

- 2018年2月、新たなビジネスアイデア等を有するベンチャー企業等と投資家・事業会社とのマッチングを円滑化するための場として「宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム（S-Matching）」を創設。
- 当該枠組みに参加するベンチャー企業等の人材ニーズと、JAXAや大企業等のOB人材・現役人材の専門性のマッチングのための**専門人材プラットフォーム「S-Expert」（仮称）**を新たに構築。
- JAXAや大企業等に所属する宇宙分野における専門人材が、多様な働き方を通じて、ベンチャー企業等で貢献することを可能に、また、**他産業から宇宙産業への人材流入も促進。**

#### S-Expert（仮称）の概要



# 衛星データ活用スキル習得機会の拡大

- **本年7月に、リモート・センシング技術センター(RESTEC)の「リモートセンシングデータ解析技術者養成講座」を、経済産業大臣が「第四次産業革命スキル習得講座」として認定。**RESTECは、来年1月に同認定講座を開講する予定。
- また、本年度のスペース・ニューエコノミー創造ネットワーク(S-NET)では、衛星データを活用して新しく事業を開始したいと考えている方向けに、リモートセンシング講座等のセミナー・ワークショップを開催。
- 更に、現在開発している政府**衛星データオープン&フリープラットフォーム「Tellus (テルース)」の中で、より高度なスキルを習得し、衛星データを分析・活用できる人材を育成・発掘する観点から、ユーザートレーニングやデータコンテストを実施する予定。**

## 第四次産業革命スキル習得講座（衛星データ解析）のイメージ

### ○認定講座で習得するスキル・育成する人材の概要：

- ・衛星データに関する画像の特徴や取扱い手法、解析手法等を学習することで、衛星データを活用して様々な産業分野においてビジネス創出を実現できる人材を育成。
- ・例えば、衛星データを解析することで、農業分野では、稲のタンパク質含有量を推定して収穫適期を推測するソリューションの提供や、国際的な開発援助プロジェクトでは、衛星データの情報を利用して都市開発の計画策定などができる人材を育成。

### ○認定講座の対象者層：

環境や気候変動、都市開発、農林水産等に関する業務や研究に携わった経験がある事業者を想定

### ○認定講座終了者の活躍が期待される業界・企業

上記の分野をビジネス・研究として実施している企業（IT企業やベンチャー、航測会社、コンサル会社等）

# (参考) 第四次産業革命スキル習得講座認定制度の概要

- I T・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けキャリアアップを図る、専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する。

※ 厚生労働省が定める一定の要件を満たし、厚生労働大臣の指定を受けた講座は「専門実践教育訓練給付」の対象となる。

## ■ 講座の要件

- ✓ 育成する職業、能力・スキル、訓練の内容を公表
- ✓ 必要な実務知識、技術、技能を公表
- ✓ 実習、実技、演習又は発表などが含まれる実践的な講座がカリキュラムの半分以上
- ✓ 審査、試験等により訓練の成果を評価
- ✓ 社会人が受けやすい工夫 (e-ラーニング等)
- ✓ 事後評価の仕組みを構築 等

## ■ 実施機関の要件

- ✓ 継続的・安定的に遂行できること (講座の実績・財務状況等)
- ✓ 組織体制や設備、講師等を有すること
- ✓ 欠格要件等に該当しないこと 等

## ■ 認定の期間

- ✓ 適用の日から3年間

## ■ 対象分野・目標

※IT技術の基礎・初級は対象としない。

(目標)

(1)

IT  
(IT業界)

新技術・  
システム

高度技術

①

クラウド、I o T、  
A I、データサイエンス 等

開発手法

デジタルビジネス開発 (デザイン思考、サービス企画、データ分析、アジャイル等) との組み合わせも想定

②

ネットワーク、セキュリティ 等

自動車 (モデルベース開発)、ものづくり (生産システム設計) 等

ITSS  
レベル4  
相当  
を  
目指す

(2) 産業界の  
I T利活用

# S-Expert（仮称）創設に向けた論点整理

- 本検討会での議論を踏まえ、宇宙ビジネス起業家の人材ニーズとJAXA・大企業等のOB・現役人材のマッチングのための専門人材プラットフォーム「S-Expert」（仮称）を本年度中に創設する予定。現在、民間企業等とのヒアリングを行いつつ、本プラットフォームの詳細設計を整理中。

## 「未来投資戦略2018」（平成30年6月15日閣議決定）

### 第2 具体的施策

1. 「Society 5.0」の実現に向けて今後取り組む重点分野と、変革の牽引力となる「フラッグシップ・プロジェクト」等

[1] 「生活」「産業」が変わる

#### 3. 次世代産業システム

(3) 新たに講ずべき具体的施策

#### iii) 宇宙ビジネスの拡大

・本年3月に発表した「宇宙ベンチャー育成のための新たな支援パッケージ」を着実に実施し、日本政策投資銀行や産業革新機構等官民一体でのリスクマネーの供給拡大を図るとともに、本年度より、人材流動性を高めるためのJAXAや企業OB等の専門人材を集約したプラットフォームの創設等を通じて宇宙ベンチャーの創出・育成を支援する。

## 主なヒアリング先（実施中）

検討会有識者、JAXA、NEDO、民間企業（大企業、ベンチャー）等

## 主な論点項目

### （1）専門人材の登録の考え方

- ・登録要件
- ・申請内容の確認方法

### （2）登録専門人材情報の取扱い

- ・登録情報の閲覧制限
- ・人材情報の管理方法

### （3）具体的な人材シーズ・ニーズ情報

- ・登録項目（専門性（技術・設計、プロジェクトマネージャー、会計等）、雇用形態（アドバイザー、副業、出向等）、勤務経験、年齢等）

### （4）マッチング関連ルール

- ・マッチングにおける信頼性を担保する仕組みづくり

### （5）民間人材エージェントの参加形態

### （6）S-Matchingとの連携のあり方

### （7）他産業からの本プラットフォームへの呼び込み